

# 中国経済の 地域間産業連関分析

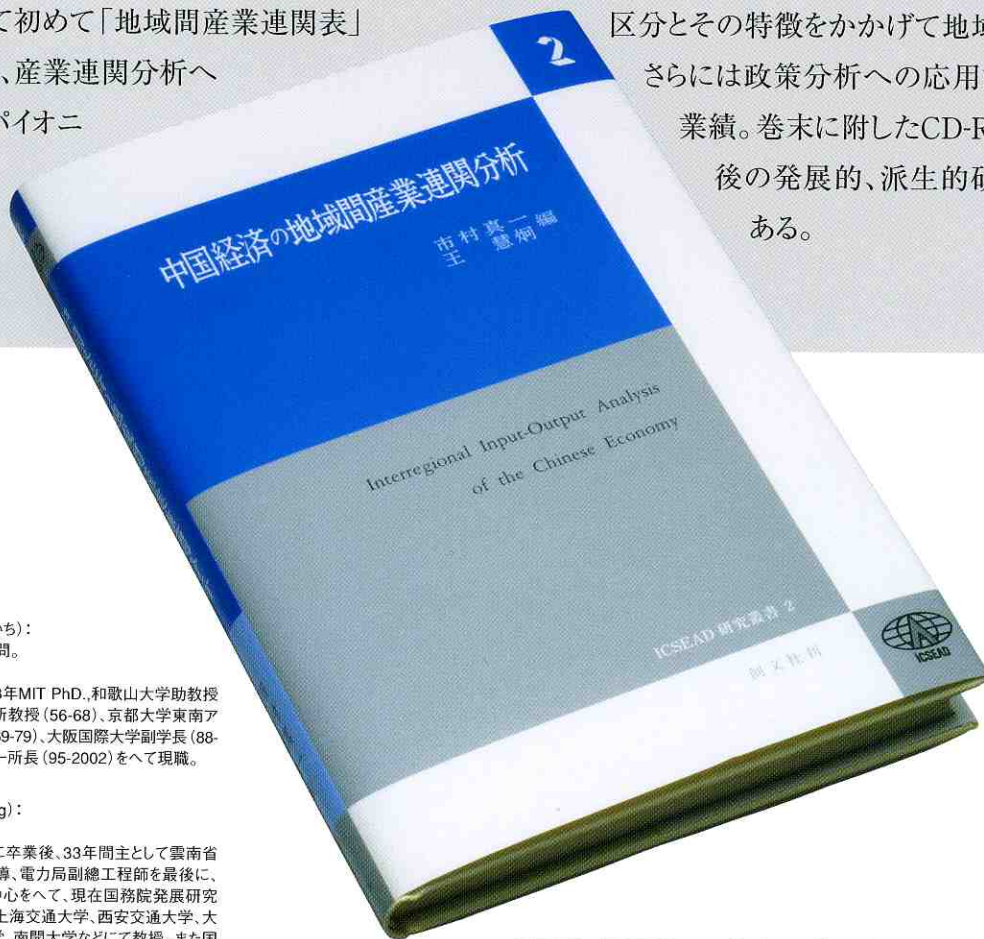
Interregional Input-Output Analysis of the Chinese Economy

市村真一 編  
王 慧炯

「地域間産業連関表」の知識やその分析手法はとくに目あ  
たらしいものではないが、その実際への応用は世界でも数か国、  
数例にかぎられている。

本書は中国において初めて「地域間産業連関表」  
を作成し、地域分析、産業連関分析へ  
の応用をはかったパイオニ  
ア的プロジェクト  
であり、日本と中

国の研究グループによる共同研究の一大成果である。  
中国の「地域間産業連関表」の作成にあたり、情報の乏しい  
折に適用する方法を考案し、新たな視点による独自の地域  
区分とその特徴をかかげて地域間の依存関係を分析、  
さらには政策分析への応用までをも提示した画期的  
業績。巻末に附したCD-ROMはその利用により向  
後の発展的、派生的研究に資すること多大で  
ある。



編 市村真一 (いちむら・しんいち):  
(財)国際東アジア研究センター 顧問。  
1925年京都市生まれ。  
1949年京都大学経済学部卒、1953年MIT PhD、和歌山大学助教授  
(49-56)、大阪大学社会経済研究所教授 (56-68)、京都大学東南ア  
ジア研究センター教授 (68-88、所長69-79)、大阪国際大学副学長 (88-  
95)、(財)国際東アジア研究センター所長 (95-2002)をへて現職。

編 王 慧炯 (Wang Huijiong):  
1925年上海生まれ。  
上海交通大学電気工学科を47年に卒業後、33年間主として雲南省  
においてその建設開発の実務を指導、電力局副総工師を最後に、  
80年より国務院の技術経済研究中心をへて、現在国務院発展研究  
中心の学術委員会副主任。併せて上海交通大学、西安交通大学、大  
連工学院、北京航空大学、清華大学、南開大学などにて教授。また国  
連・世銀・アジア開発銀行にて短期勤務。



(財)国際東アジア研究センター  
The International Centre for the Study of  
East Asian Development (略称:ICSEAD)

北九州市が中心となり、経済界等の協賛を得て、  
米国ペンシルベニア大学との協同研究施設として  
平成元年(1989)9月に設立された。主に、東ア  
ジア地域の経済・社会問題の調査研究と、アジア  
諸国並びに欧米との学術交流を行ってきた。また、  
北九州市立大学等との大学院連携講座や市民  
向けの「アジア講座」の開設、ウオートン・エグゼク  
ティブ・プログラム等を開催するなど、地域社会と  
の交流を続けている。

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4  
北九州市大手町ビル  
Tel:093-583-6202  
Fax:093-583-6576  
URL:<http://www.icsead.or.jp/>

創文社刊 A5版・上製本……………定価 6,825円(税込)  
(財)国際東アジア研究センター賛助会員は特別価格4,500円(税込)で販売

■ご購入ご希望の方は、(財)国際東アジア研究センターへTEL、FAXまたはE-mailでご注文ください。

TEL:093-583-6202 FAX:093-583-6576 E-mail:megumi@icsead.or.jp 担当:有馬、梅林

(ふりがな) ご芳名	冊数	ご住所 (ご所属・役職名)	連絡先電話番号	賛助会員番号
( )	冊	〒	( ) -	
( )	冊	〒	( ) -	
( )	冊	〒	( ) -	